

としまPゼミ通信は、毎回の活動をまとめ、学びのふりかえりに役立てていただくことを目的に発行しています。さっそく第2回月例会の活動を紹介します！



ともに響きあうかわりをつくろう ～子どもの声を聴くこと～

はじめましての方もいらっしゃるので、自己紹介のあと、北さんから「コミュニケーションとは能力でなく、人とのかわりの中で育まれていくもの。全5回の講座で、多くの関係づくりをとおして皆さんのコミュニケーション力を高めてほしいです。第2回は心と体と頭を使って、まずは遊んでいきます！」と前回のふりかえり&今回のテーマについてお話がありました。

まずは実践！「あそび」はコミュニケーション ひたすらあそぼう★大人にも必要なあそびって？

ココロをほぐすために前回もトライした「ラッキーセブン」から。実は意識しないと前に出す手をグーにはできない…「すぐできなくていいのです。できないことを次どうしようと思う瞬間に『ざわめき』があって、これがコミュニケーションの種となります。今日は皆さんをたくさんざわめかしていきますよ！」

ここからは、みんなであそんだワークをいくつか紹介します！ぜひお子さんやお友だちとやってみてくださいね。

脳の体操「キャッチ」では、まず左手の人差し指を出し、右手で筒のように緩んだグーを作り、左手人差し指を左隣の人の作った筒に入れて準備。北さんが「キャッチ」と言ったら右手をぎゅっと握って隣の人の人差し指を捕まえます。自分の左人差し指は捕まらないように上にあげます。「キャッ〜プ」「キャッスル〜」などまぎらわしい言葉の時には、動いてはいけません。言葉を聞き判断し、左右の手を別の動きにしなくてはいけない難しさ。皆さん「おー」「あーあ…」「できた〜！」と笑顔で大盛り上がりでした。



また**相手の情報を聞きだして、席順の並び替え**をしました。「誕生日1月から順」「出生地の北から南の順」など。短い時間で色々な会話をしながら順番に座っていきました。皆さんさすがのコミュニケーションで、バッチリ並び替え。出生地では、なんと東北地方の同じ地元・同じ高校・部活出身で10数年ぶりに、この講座で再会した方が！運命的な巡り合わせに皆さんびっくりしました。

言外コミュニケーションにも挑戦！

前回の講座では、コミュニケーションの75%は言外コミュニケーションであると学びました。いかに言外コミュニケーションに頼っているのかあそんで実感してみます。

「トランプ」では1枚カードを引き見ないで、自分のおでこに貼ります。自分の数は見えませんが、相手の数は見えます。カードは1~13(K)とジョーカーがあり、13のキングが最強。11(J)以上は王族といったところでしょうか。ジョーカーは嫌われ者の設定。相手とは言葉でなく、表情・姿勢・姿・形・目線・雰囲気のみで対応し、相手の表情・態度から自分のおでこに貼ったカードの数を想像して、1分後、1から13の順に並んでみました。例えば自分が5で相手が11だったら相手の方が偉いので深いお辞儀をする、相手が1なら、自分は少し偉そうにするなど態度で相手に数を伝えます。「他者と関わることで自分も見えてくる。関わらないとわからない。これはコミュニケーションそのものです！」と北さん。



次は6人1チームで相談して、**お題をジェスチャーで表現**。「富士山になあれ！」「くじらになあれ！」同じお題なのに、両チームとも独創的な形で表現していたのが印象的でした。

そして「人間写真上映発表会」。お題からイメージした3つの場景をチームで話し合い、静止画で表現。共通するテーマを当ててもらおうワーク。2チームの大作はこちら！「カシャ」シャッター音ではいポーズ！

【クイズ:共通のテーマはなんでしょう?】お子さんもわかるでしょうか?笑



どれも短い時間で作ったとは思えない作品ですね。まるでいたずらっ子のように、皆さんが目を輝かせて相談していたのがとても印象的でした。皆さんそれぞれの関係性がぐっと近くなっていました。

コミュニケーションは未来をつくる！私が「私」になれる時間って？

まとめでは「この1時間がなぜ楽しかったのですか?」という問いに3人一組で、意見を出し合って発表し、「最後は笑顔に〇、楽しいを作っているのには笑顔がある」「創造と自由、心が動いた」「大人が全員全力になった」「自由で正解がないあそび、創造するあそび」などの意見があがりました。

「この講座の中で、皆さんの面白い心、面倒でも動いてみようという体と、答えは一つでないと考える頭と、思いを馳せる想像力と表現し合う力が発揮されました。これらは誰からもジャッジされることはありません。みなさんがやったことを馬鹿にした人はいましたか?自分と違った意見が出て、それを面白がり、6人で表現する。そこには違いと共有があふれていました。子どもに対しても同じです。子どもが表現したことを絶対に馬鹿にしてはいけません。

AIの発達などもあり、考えなくてもいいことが増えてきたこの息苦しい時代の中で、人間のコミュニケーションを取り戻すことは重要です。あなたの中から、あなたの周りから変わっていく、そうすればもう少し豊かな社会になっていくのではないのでしょうか。

私たちがコミュニケーションを持ったのは、違う人と共有するためです。これがなくなれば、人類が滅亡に向かっているとさえ思っています。未来の子どもたちの周りには私たちが、コミュニケーションを学ぶというのは未来をつくることなのです。」北さんの熱い思いが伝わります。あそびには、年齢も性差も役割も序列もありません。あそびはコミュニケーションであり、コミュニケーションは誰かと一緒に育んでいくものです。

「あそびの中でしか味わえない、私が『私』になれた時間。皆さんは家族の中で、職場で、『私』がきちんと生きていますか?」北さんの深い問いに皆さん真摯に向き合っていました。

○○○みなさんからの感想を一部ご紹介します○○○

*原文ママ

今回学習した内容で、印象に残ったこと

- 言葉がなくてもコミュニケーションは取れるということ。人の温かさを知れた。
- 久しぶりに全力で遊んだこと。北さんのお話の「人類は滅亡に向かっているが、それに抗うためにあそびを伝え続ける」という姿勢に感動した。
- 写真を再現する際の皆さんの企画のスピードと表現のクオリティに驚きました。

これから実行しようと決めたこと

- 子どもの考えを本気で聞くということ。
- 1日1回子ども達とあそびを楽しむ。リビングで「〇の字から始まるもの」を5個探そうで大盛り上がりでした。
- 子どもの話を最後まで聞く!バカにしない!
- 謙虚に生きてみたいです。

学習発表会は、3月1日(日)区役所1階としまセンタースクエアで開催! 庶務課担当は太田・岡田・大和田です。よろしくお願ひします!

【クイズ答え】

- ① 豊島区 ・1枚目「フクロウ」・2枚目「ソメイヨシノ」・3枚目「ここ↓」
- ② 12月 ・1枚目「クリスマス」・2枚目「紅白歌合戦」・3枚目「年越しそば」

